

各 位

2025年11月26日

会 社 名 株式会社 ジェネレーションパス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 岡 本 洋 明  
(コード番号：3195 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 鈴 木 智 也  
( TEL. 03-5909-2937 )

## 上場維持基準への適合に関するお知らせ

当社は、2025年1月29日に開示した「上場維持基準への適合に向けた計画」に基づく各種取組の結果、2025年10月31日時点で東京証券取引所グロース市場の上場維持基準に適合いたしましたので、下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況

当社は2025年10月31日時点において、東京証券取引所グロース市場の全ての上場維持基準に適合したことを確認いたしました。2024年10月31日時点では時価総額のみ基準に満たない状況でありましたが、各種施策の推進により1年間でおおよそ2倍(2,023百万円から4,034百万円)となる等、持続的な改善の兆しが現れています。

		時価総額 (百万円)
当社の適合状況	2024年10月31日時点	<u>2,023百万円</u>
	2025年10月31日時点	<u>4,034百万円</u>
上場維持基準		4,000百万円
2025年10月31日時点の適合状況		<u>適合</u>

※ 時価総額の算出にあたっては、事業年度の末日等以前3か月間の日々の最終株式価格の平均値である487.46円(小数点第三位以下、省略)を採用しています。

#### 2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況

当社は、業績の向上および安定化を通じて企業価値を高めるとともに、グロース市場に求められる高い成長性を示すことを重要な課題と捉え、2025年10月期から2027年10月期までの中期経営計画を策定するとともに、2025年10月期は以下の点を中心に実行してまいりました。

##### (1) ECマーケティング事業

USP (Unique Stores Platform) 事業拡大のための投資を実行しつつも、D2C商品の拡大による原価率の改善により、2025年第3四半期連結累計期間における営業利益率は前年同期比で2.7倍(0.31%から0.85%)を達成しています。また、中国の内需拡大方針に対応すべく中国青島に新規子会社を設立し、2026年以降の新規収益基盤の創出のための体制を整備いたしました。

##### (2) 商品企画関連事業

機能性繊維の研究開発を強化し5つの画期的な特許取得を実現するとともに、アパレル向け販売の強化を目的として、伊藤忠商事株式会社との間で「アパレル向け機能性繊維の共同開発・販売に

関する基本合意」を締結し新たな業界参入と収益源の多様化が進展しています。また、ベトナム子会社における日本以外の販路の拡大にも積極的に取り組んだ結果、オーストラリア、イタリア、アメリカ等から受注を獲得することができました。

### （３）その他の施策

財務面においては、デット・エクイティ・スワップを実施し、子会社への貸付金から発生していた為替差損益の低減を図ることで、為替リスクによる不確実性に対応できる体制を構築いたしました。

IR活動においては、適時開示以外にもプレスリリース等における任意的な企業情報の開示を増やし、決算説明の補助資料の配布を行うことで、IR活動及びPR活動の推進を行っています。

株主還元においては、2025年10月期に株主優待制度を導入したことで、株主数が大きく増加（2,501名から4,131名に増加）するとともに、今後の株主数の安定に寄与することが期待されます。

これらの施策により、2025年10月期の親会社株主に帰属する当期純利益は中長期計画の1年目（90百万円）を上回って着地する見込みです。

### 3. 今後の見通し

当社は今後も、D2C商品の拡大や日本以外の販路開拓等、効果が出始めている中期経営計画に掲げた重点施策を確実に実行するとともに、USP事業及び中国内需向け事業への投資や伊藤忠商事株式会社との取組を着実に成果に結びつけ持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

また、スタンダード市場をはじめとする上位市場への移行についても、短・中期的視野での検討を進めてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上